

2026年5月8日

各位

会社名 株式会社日本エム・ディ・エム
 代表者名 代表取締役社長 弘中 俊行
 (コード番号 7600 東証プライム)
 問合せ先 IR室 棟近 信司
 (03-3341-6705)

2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月30日に公表した2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	24,800	700	550	300	11.38
実績値(B)	23,917	574	534	263	9.99
増減額(B-A)	△883	△126	△16	△37	
増減率(%)	△3.6%	△18.0%	△2.9%	△12.3%	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期通期)	25,114	1,555	1,488	△461	△17.54

(2) 差異が生じた理由

連結売上高は、日本国内において、一連の報道事案の影響により第4四半期の獲得症例数が減少したことに加え、米国において人工膝関節の獲得症例数が減少したことなどから、前回予想を下回りました。

営業利益は、販管費及び一般管理費の効率化に取り組んだものの、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、製品供給対応に伴う労務費等の製造間接費が増加し、製造原価が想定を上回ったことから、前回予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記の要因に加え、税効果会計における繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを、より慎重な前提に見直したことにより前回予想を下回りました。

当社は、期末決算作業の過程において、足元の業界動向、今後の事業計画及び将来の課税所得の見直し等を踏まえ、回収可能と見込まれる金額を従来よりも慎重に算定し、一部の繰延税金資産を取り崩すことといたしました。これに伴い、法人税等調整額が増加したことで、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回りました。

なお、本見直しは税効果会計における会計上の見積りの見直しによるものであり、当社グループの営業利益、経常利益及び営業活動によるキャッシュ・フローに直接的な影響を及ぼすものではありません。

2. 通期配当について

上記の通り、通期連結業績予想を下回る決算値となりましたが、当社は株主の皆さまへの安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要方針としております。今回の差異には、税効果会計における会計上の見積りの見直しという非資金項目が含まれていることに加え、来期以降の業績回復見

通し及び財務基盤の健全性を総合的に勘案し、前回発表予想どおり、1株当たり年間17円の配当を維持する方針です。

3. 決算発表日程の変更について

税効果会計における繰延税金資産の回収可能性に関する最終的な確認作業に時間を要したことから、2026年3月期の決算短信の公表日を当初予定の2026年4月30日から本日2026年5月8日に変更させていただくことといたしました。

以上